

製品名: NBK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14423**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	30 25kDa

抗原情報

遺伝子名	BIK
別名	BIK; NBK; Bcl-2-interacting killer; Apoptosis inducer NBK; BIP1; BP4
遺伝子 ID	638.0
SwissProt ID	Q13323
免疫原	抗血清はヒト BIK 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 18-67

背景

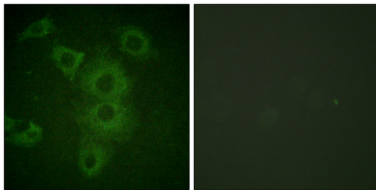
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、BID、BAK、BAD、BAX などの他の細胞死促進タンパク質と重要な BH3 ドメインを

共有しており、このドメインは、アポトーシス促進活性、および BCL2 ファミリーの抗アポトーシス性タンパク質やウイルス生存促進タンパク質との相互作用に必須である。このタンパク質の活性は生存促進タンパク質の存在下では抑制されるため、抗アポトーシス性タンパク質の標的となる可能性が示唆されている。[RefSeq 提供、2011 年 9 月]、ドメイン:BIK、BID、BAK、BAD、BAX は、アポトーシス促進活性、および Bcl-2 ファミリーの抗アポトーシス性タンパク質との相互作用に、完全な BH3 モチーフを必要とする。機能:プログラム細胞死を促進する。アポトーシス抑制因子である Bcl-X(L)、BHRF1、Bcl-2、またはそのアデノウイルスホモログである E1B 19k タンパク質に結合すると、この細胞死促進活性が抑制されます。BAX とは相互作用しません。細胞内局在: 核膜周囲および細胞質膜内。、

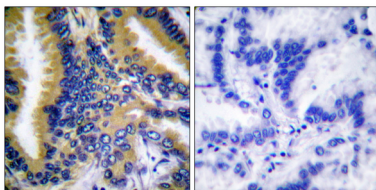
研究分野

細胞内; 関連タンパク質; 細胞生物学; アポトーシス; 核; 癌; 細胞死

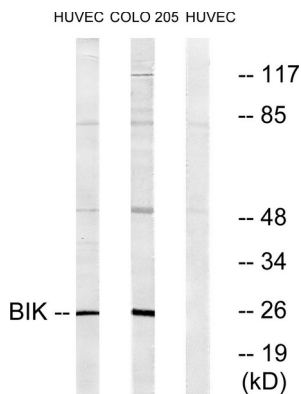
画像データ



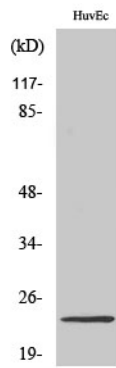
BIK 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



BIK 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



BIK 抗体を用いた HUVEC/COLO205 のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NBK ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。